



岡山大学 Alumni (全学同窓会)の 設立に向けて

平成18年各学部同窓会の連絡調整を主任務とする全学同窓会が設立され、以来、会長をお引き受けし、今日に至っています。

東京からみていて、現状のままでは大学間競争に勝ち抜いていけないのではないか、グローバル化の流れにも即応できないのではないかと痛感していました。

そのとき、大学側から、他大学の活動状況を参考にした全学同窓会の抜本的改組構想の提示を受けました。

この一文が掲載される時点では、10月設立に向けて準備が本格化しているものと確信していますが、私が現状改革をしなければとの思いを強くした諸点を述べて会員の皆さんの参考に供し、改革の方向に御賛同を戴き、充実した全学同窓会活動を御支援いただきたいと思います。

1 就職支援活動

私自身、大学の就職支援活動の講師として参加した事はあるが、OBを組織化してもっと積極的に大学と連携した就職支援活動が出来ないか。

(1) 中央官庁就職希望者への対応

国家公務員試験(総合職)の最終合格者が、全国10位を占めるほど在学生は頑張っている。

後一押し支援が出来ないか。そのため中央官庁人事担当者を招いてオリエンテーションをする。

OBによる個別のアドバイスシステムをつくる。

(2) 民間企業就職希望者への対応

OBネットワークを通じて、岡大を指定校に加えてもらう。企業人事担当者によるオリエンテーションの機会をつくる。

OBによる個別のアドバイスシステムをつくる。

(3) OBの経験ノウハウを在校生に伝えるシステムを整備する。

2 研究、事業予算の確保

成長戦略、科学技術振興等で政府は、時代先行の予算案の策定に動いている。

今までの我々の対応は、受身で後手後手になっていなかったか。

岡山大学同窓会 会長

小長 啓一

Konaga Keiichi

昭和28年法文学部卒業(第一期)
元通商産業事務次官
(財)経済産業調査会 会長
弁護士



(1) それに関する情報の先行入手、立案の段階からの共同作業、予算の確保等に努める。

(2) 大学間競争に伍していく為には、同窓会、大学一体となる体制整備が急務である。

3 人材養成

岡大から“山中教授”を輩出すべく支援するのであれば1万円は安いものとの声もある。

(1) 学術研究、スポーツ分野等における優れた人材に対する助成を行う。

(2) 外国人留学生の受け入れ

偶々私のサウジとの関係からサウジ人留学生2名の受け入れに成功したが、ベトナム、タイ、インドネシア等のアセアン人材の確保に努める。

4 岡山県、岡山市、経済界との連携

ピッツバーグに做った医療都市構想が進められているようだが、OBと大学が一体となって参加し、地域活性化に貢献すべきではないか。

5 異業種交流

各学部同窓生が一堂に会する機会が増えれば、異業種交流の場が出来、絆が強化される。

以上のことは、もう10年早く着手できていたらと悔まれる点もありますが、今が最後の機会だと思っています。同窓生の最長老の一人として、後輩の皆さんに引き継ぐべき基盤をがっちり固めるべく老骨に鞭打って頑張っていく所存であります。

OKAYAMA
UNIVERSITY

岡山大学Alumni (全学同窓会) 設立趣意書

岡山大学の卒業生、在校生、教職員、そして岡山大学の知の営みに関与したすべての方々を構成員として、2013年10月、岡山大学Alumni (全学同窓会)を設立します。

岡山大学は、1949年、岡山県民の多大なる支援のもと、総合的な教育研究組織と高度な学術水準を持つ国立大学として設立され、すでに10万に近い有為な人材を世に送りだしてきました。その間、60有余年に渡りその卒業生を中心に、各学部・学科にそれぞれの同窓会が組織され、同窓生間の強固な結束を育んできました。2004年には大学が国立大学法人となり、同窓会も「岡山大学同窓会」という連合組織を発足させました。しかし、この連合組織は、各同窓会の活動レベルがそれぞれ異なっていたこともあり、より有意義な活動のためには組織の改変が焦眉の急となっております。

近年、大学を取り巻く環境は大きく変貌し、急速な国際化の進展、学術研究の相互依存の高まりは、大学に対する社会的評価の在り方も変え、大学の総合的力量的達成が大学評価の基準になってきました。また社会は、国際社会で活躍する指導的人材の育成にも、学部・学科の枠を超えた、一体的取り組みを求めています。同窓生自身も、出身学部の枠を超えた連携を求めています。こうした状況のもと、全学的な岡山大学Alumniを組織し、新たに全学同窓会を設立する必要があると判断いたしました。

新たに組織されるAlumniは、既存の各学部・学科の同窓会から独立した組織として運営され、卒業生だけでなく在校生、教職員その他、岡山大学の知の営みに関わったすべての人を構成員とし、以下のミッションを遂行します。

1. 各地域に支部組織を作り、学部を超えた交流、大学と連携した全国的ネットワークを作る。
2. 地域と国の未来を担う指導的人材育成という使命を大学と分かち持つ。
3. 岡山大学とAlumniの人的ネットワークを世界大に拡大する。
4. 在校生を含めたAlumniの交流の場を充実させる。

岡山大学が知の養い手として発展し、世界的な学術研究の中で確かな存在感を与え、また岡山大学で学んだすべての人が岡山大学のアイデンティティに誇りを持つことができるように、岡山大学と全学同窓会の連帯を強く祈念するものであります。

ここに改めて、岡山大学のすべての同窓生、学生、教職員に岡山大学Alumni (全学同窓会)設立趣旨へのご理解とご支援をお願いするものです。

2012年10月

岡山大学同窓会 会長 小長 啓一
国立大学法人岡山大学 学長 森田 潔

岡山大学の動き

コミュニケーションシンボルマークの制定



OKAYAMA UNIV.

岡山大学は、真の国際的な研究・教育拠点としての「美しい学都」を目指しています。

岡山の地に世界から知が結集し、世界に向けて創造的な知の成果を発信するためのコミュニケーションシンボルマークを制定しました。

コミュニケーションシンボルは、Okayama の「O」と総合大学の University の「U」をデザインモチーフにしています。全体のフォルムは、世界に向かって開かれる「知の扉」を表現しており、岡山から「知のコミュニケーション」が始まっていく様をイメージしています。ブルーの色調は、岡山大学の叡智を表現するとともに、「晴れの国」の青空を象徴しています。

岡山大学のイメージを訴求し、様々な活動を円滑に行う「コミュニケーションシンボル」として平成24年4月1日から使用しています。

ホームカミングデイ 2012

岡山大学は10月20日、卒業生や地域の人を招いて大学に親しんでもらうイベント「ホームカミングデイ2012」を開催しました。訪れた卒業生たちは旧友や恩師と思い出話に花を咲かせ、現役学生と交流するなど、日ごろ帰る機会が少ない母校でのひとときを楽しみました。

メイン会場の創立五十周年記念館金光ホールでは、卒業生ら約200人を迎え歓迎式典と岡山大学同窓会総会を開催。特別企画として、法学部の卒業生であり、「謎解きはディナーのあとで」で第8回本屋大賞を受賞した作家・東川篤哉氏によるトークショーも行われ、大学時代や執筆中のエピソードなどが披露されました。東川氏や学生、教職員が推薦本を紹介し合う「ビブリオバトル」もあり、会場は盛り上がりました。

記念館周辺では、飲食店などを経営する卒業生らが“出張”出店。陶芸や木工作品などを専門とする工芸研究室卒業生・在学生の作品展示やワークショップも行われました。施設公開や教員・卒業生による講演会、半田山森林散策ツアーなど学部ごとのイベントも開催。応援団総部や「うらじゃ」チームの演舞、茶道部によるお茶席、

学生ガイドによるキャンパスウォークツアーなどもあり、多くの現役学生が卒業生らを歓迎しました。

次回の「ホームカミングデイ2013」の開催は、平成25年10月19日(土)の予定です。



卒業生フォローアップセミナー（東京・岡山）を開催

岡山大学キャリア開発センターでは、学生の就職支援活動につながる場として、また、同窓生の異業種交流の場として、卒業生フォローアップセミナーを開催しています。

今年度は、東京では5月と2月(会場:東京サテライトオフィス)に、岡山では7月(ちゅうぎん駅前ビル)に開催しました。

5月に東京で開催したセミナーでは、講師にJastGiving Japanの佐藤大吾氏を迎え、卒業生を中心に11人が参加。平成23年3月に起こった東日本大震災以降におけるJustGivingの活動や、御自身の現在の取り組みに至った経緯、寄附を取り巻く日本の制度の現状と問題点、英国・米国との比較など、様々な視点から講演いただきました。特に、英国で寄附文化がどのように広がっていったのかという話や、日本で寄附文化を創り支えていくためにはインフラがあまりにも不足しており、現状打破のために取り組んでいる話、実

岡山大学の動き

際に寄附を集めるにあたってのコツなどに、参加者は大きな関心を持って聞き入っていました。

また、7月に岡山で開催したセミナーでは、今季に過去最高の成績を収めたサッカーJ2・ファジアーノ岡山代表取締役社長の木村正明氏が卒業生ら84人を前に、ゴールドマン・サックス時代の経験を元にした金融の話から、ファジアーノでの取り組みまで幅広い話題について講演。「スポーツと大学とオーケストラは、世界共通の話題」という持論を紹介し、「サッカーや大学がそれぞれ盛り上がり、岡山全体が盛り上がっていく」というメッセージを参加者に送りました。

参加者からは「『岡山人』としての意欲と誇りを新たにした」、「仕事や社会貢献への向き合い方を考えさせられた」など好評の声寄せられました。

どちらの会場でも、講演後の情報・名刺交換会において卒業生同士で交流を深めていました。



於：岡山大学東京サテライトオフィス



ちゅうぎん駅前ビル

学生の活躍

●文学部3年の駒井早貴さんと九鬼さゆりさんが、全国公募の「第12回若山牧水青春短歌大賞」で入賞。

駒井早貴さんは最高賞の青春短歌大賞に選ばれ、九鬼さゆりさんが審査委員特別賞を受賞。

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id1471.html を参照

【将棋部・学生王将戦】

●第41回全日本学生将棋十傑戦で、工学部4年将棋部松本憲太郎さん(アマ五段)が準優勝

岡山県内の学生が、決勝に進んだのは、昭和60年に優勝した赤島卓さん(岡大)以来、27年振り

【放送文化部】

●第29回NHK全国大学放送コンテストLive部門で第3位(出場30校)

【陸上競技部】

●第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(平成24年10月28日開催)に2年連続出場し、全出場校28校中21位

【アイスホッケー部】

●第16回女子アイスホッケー大会で第3位(14団体出場)

【応援団総部吹奏楽団】

●岡山県吹奏楽コンクール 金賞(岡山県代表)

●全日本吹奏楽コンクール 中国大会銀賞

【水泳部】

●中四国学生選手権大会 男女共に団体優勝

●全国国公立大学選手権水泳競技大会 男子団体2位, 女子団体3位

【ダンス部】

●第25回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)において特別賞を受賞

【競技ダンス部】

●第57回全日本学生競技ダンス選手権大会の競技種目:ルンバで、新居田弦己, 玉田絢子ペアが優勝

【歯学部卓球部】

●平成24年度第44回全日本歯科学学生総合体育大会(通称歯学体、あるいはオールデンタル、全国29校の歯科大学・歯学部が参加)で卓球女子団体戦準優勝, 千賀靖子女子シングルス第3位

【中国五大学学生競技大会(夏季・冬季大会)】

岡山大学が1位となった競技

●水泳部(男子・女子), ソフトテニス部(女子), 卓球部(男子), 準硬式野球, 弓道(男子), 空手道(男子・女子), テニス部(女子), 柔道(男子), アーチERY(男子・女子), ハンドボール

【医学部西医体開催】

●中四国ブロック担当で岡山大学医学部が代表主管校となり、平成24年度第64回西日本医科学学生総合体育大会が7月28日～8月17日にかけて、岡山市及び倉敷市を中心として開催された。

【ウェイトトレーニング部】

●ポーランドで行われた世界ジュニアパワーリフティング選手権大会に出場し、西村義人(医学部4年生)が男子66Kg級で2位となった。

【漕艇部】

●全日本選手権において、男子対抗舵手付きフォアで5位に入賞した。(国立大学中1位)

研究の成果

●大学院教育学研究科の石川彰彦准教授らの研究グループは、幾つかの植物繊維が高いセシウム及びストロンチウムイオン吸着能を有していることを評価しました。これらの植物繊維は農業、飲料産業等から膨大に得られる副産物であり、この知見を利用した放射性物質の除去技術について、放射能汚染問題の改善につながる可能性を提案しました。

●社会文化科学研究科の今津勝紀准教授は、延暦13(794)年7

月10日(旧暦)に未知の巨大地震が発生していたことを確認しました。震源は明示されていないが、直後に四国を一周していた南海道が廃止されており、これが南海地震であった可能性を示します。地震の規模は昭和南海地震クラスと推定されます。

- 大学院自然科学研究科の妹尾昌治教授らの研究グループは、マウスのiPS細胞を用いてがん幹細胞のモデルの作成に世界で初めて成功しました。今回の樹立されたモデルを用いて解析を進めれば、がん幹細胞の研究の進展に拍車がかかるものと期待されます。
- 大学院環境学研究科の宮竹貴久教授らの研究グループは、貯蔵穀類の重要な害虫であるタバコシバンムシが特定の紫外LED波長に良く反応することを突き止め、この害虫の行動特性を利用したLED光による誘殺トラップの試作に成功しました。将来、食品害虫の防除に広く応用が期待されます。
- 大学院医歯薬学総合研究科薬理学の西堀正洋教授と脳神経外科学の伊達勲教授の研究グループは、交通事故などを原因とする脳外傷後に生じる脳腫脹の機序を明らかにし、急性脳腫脹に対する新しい治療法を開発しました。
- 資源植物科学研究所の佐藤和広教授らの研究グループが参加した国際コンソーシアムは、オオムギの51億個の塩基からなるゲノム塩基配列の詳細な解読に成功しました。本成果により、オオムギのゲノム情報を利用した育種が可能になり、病害抵抗性や多収性等を目指した品種改良の加速化が期待されます。
- 岡山大学病院で11月12日、脳死移植を含め100例目となる肺移植手術が行われ、無事成功しました。1998年に同病院が日本初の肺移植となる生体部分肺移植に成功して以降、100例達成は国内の医療機関初、最速となります。
同病院ではその後も肺移植が行われ、手術後の5年生存率は82%で、世界平均の50% (国際心肺移植学会データ)を大きく上回ります。
- 地球物質科学センターの中村栄三教授らは、探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワから持ち帰った試料の初期分析を行い、粒子表面に太陽風にさらされることによる宇宙風化の痕跡に加え、数10ナノメートルの微粒子が極めて高速でぶつかった結果形成されたドーナツツのようなリングを持つクレーターや、衝突のエネルギーによって融解した飛沫が飛び散り付着した様子、さらには1マイクロメートル程度の破碎された極微細粒子が付着していることなどを確認しました。
- 異分野融合先端研究コアの守屋央朗准教授(特任)らは、酵母がもつすべての遺伝子の「限界コピー数」を測定することに成功しました。
すべての遺伝子の限界コピー数が測られたのは、あらゆる生物種で初めてのことです。
本研究の成果は、ダウン症候群やがんなど、染色体数の増加によって引き起こされる病態の解明に役立つと期待されます。

(詳しくは、岡山大学ホームページを御覧下さい。)

岡山大学創立五十周年記念事業費について

岡山大学創立五十周年記念事業費については、卒業生の方々を中心に1,073,990千円もの御厚志を頂戴し、岡山大学創立五十周年記念館建設経費の他、記念式典、記念講演会、音楽会、大学公開、記念誌編纂、岡山大学マーク制定などの事業経費として支出され、その残額(47,580千円)については、岡山大学創立五十周年記念事業後援会の御厚意により、五十周年記念館維持管理寄附金として平成16年3月24日に岡山大学へ寄附されたものであります。

本寄附金のその後の使途につきましては、昨年9月29日(土)開催の岡山大学同窓会臨時役員会において執行状況が話題となり、昨年10月19日(金)開催同窓会役員会において予算執行状況表にまとめ報告したところでございます。

今回の報告を受けて、同窓会役員会から広く同窓生の方々にお知らせすべきとの御意見を頂戴したことから、「五十周年記念館維持管理寄附金予算執行状況表」として同窓会会報誌への掲載に至った次第でございます。

なお、今後につきましても、本寄附金の主旨に則り、五十周年記念館維持に必要な事業に限り支出する所存でございます。

五十周年記念館維持管理寄附金予算執行状況表

(単位:円)

年 度	予 算 額	予算執行額	予算残額	執 行 内 訳
平成16年度	47,580,000	5,192,425	42,387,575	光熱水料等 (3,384,132) 人 件 費 (1,808,293)
平成17年度	42,387,575	1,836,042	40,551,533	人 件 費
平成18年度	40,551,533	1,824,733	38,726,800	人 件 費
平成19年度	38,726,800	1,842,092	36,884,708	人 件 費
平成20年度	36,884,708	157,337	36,727,371	人 件 費
平成21年度	36,727,371	0	36,727,371	
平成22年度	36,727,371	2,478,000	34,249,371	空調設備改修
平成23年度	34,249,371	0	34,249,371	

(平成23年度末現在)

岡山大学21夢基金への御支援について

この基金は、岡山大学が、創立60周年を迎え、その記念事業として学内外に広く寄附を募り、その運用益を恒久的に、奨学金、教材の充実、国際交流資金、学習環境整備等に活用することといたしております。

本趣意を御理解いただき、格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月末現在、800件20,570,771円の御厚志をいただいております。

詳細は、<http://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/> を御覧いただくか、岡山大学総務・企画部総務課総務グループまでお問い合わせ下さい。(TEL:086-251-7007)

全学同窓会からのお知らせ

岡山大学同窓会役員等

岡山大学同窓会の役員・顧問一覧です。

平成25年3月現在

役職名	氏名	備考
■ 役員		
会長	小長啓一	法文経学部同窓会
副会長	陶浪保夫	法文経学部同窓会
〃	小谷秀成	医学部同窓会
理事	高旗正人	教育学部同窓会
〃	川本平山	理学部同窓会
〃	松井秀樹	医学部同窓会
〃	窪木拓男	歯学部同窓会
〃	岡本敬の介	薬学部同窓会
〃	※酒井貴志	工学部同窓会
〃	奥山一典	環境理工学部同窓会
監事	近藤弦之介	法文経学部同窓会
〃	宮本拓	農学部同窓会
事務局長	坂東靖夫	

■ 顧問

顧問	金光富男	名誉会員(法文経学部同窓会)
〃	森田潔	学長
〃	許南浩	理事(企画・総務担当)
〃	阿部宏史	理事(教育担当)
〃	荒木勝	理事(社会貢献・国際担当)
〃	※小山正善	文系学部長(法学部長)
〃	谷口秀夫	理系学部長(工学部長)

※平成24年10月20日付け新任

全学同窓会役員会・総会を開催

平成24年10月19日に同窓会役員会を、翌日の10月20日に同窓会総会を開催しました。

今年度も、岡山大学ホームカミングデイの諸行事と併せての開催で、金光ホールでの歓迎式典後の総会では、約200人の参加の下で平成23年度の事業報告、会計報告や平成24年度の活動計画などが承認されました。また、岡山大学同窓会の再編について提案があり、参加者からも多くの発言をいただき、種々意見交換の結果、「岡山大学Alumni（全学同窓会）設立趣意書」に添って、平成25年10月の設立に向けて検討していくことが承認されました。

その後、学生会館で行われたウエルカムパーティーでは、ギターマンドリンクラブの生演奏の中で、森田学長や大学教職員と多くの同窓生が互いの旧交を温めました。

総会の議事要旨や資料は、岡山大学同窓会のホームページで御覧いただけます。

次回の総会は、「岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立総会」として、平成25年10月19日(土)に開催の予定です。
詳細は、岡山大学同窓会ウェブサイト等でお知らせいたします。



平成24年度同窓会総会風景



平成24年度岡山大学ウエルカムパーティー風景

岡山大学同窓会ウェブサイト

岡山大学ホームページに、岡山大学同窓会ウェブサイトを開設しています。

総会等の事業報告、役員等の紹介などの同窓会の動きのほか、岡山大学から同窓生の皆様へのお知らせなどの情報提供を行っています。

下記のURLから御覧いただくか、岡山大学ホームページから「卒業生の方へ岡山大学同窓会」とリンクをたどっていただいても御覧いただけます。

岡山大学同窓会ウェブサイト

URL: <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/>



このシステムを利用して、同窓会からだけでなく、同窓生の皆様からの配信も可能となり、将来にわたり双方向ツールとして活用できます。

配信を希望される方は、本人確認後、アドレス付与の手続きをお願いします。

詳細は、岡山大学情報統括センターの「Gmail特設ホームページ」を御覧ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/cc/gmail/>

岡山大学キャンパスウォークツアーの御案内

岡山大学では、各学部をはじめ、豊かな自然や歴史遺跡など、戸外を散策しながら津島キャンパスを巡るウォーキングツアーを行っております。(鹿田キャンパスでは実施しておりません。)

案内役のガイドを務めるのは現役岡大生です。学生との会話も楽しめるアットホームな雰囲気ツアーです。

同窓会のプランに加えてみてはいかがでしょうか。

URL: <http://okadaitour.blog137.fc2.com/>

【本件お問い合わせ先】

岡山大学学務部学務企画課総務・企画グループ

TEL: 086-251-7186

e-mail: koudai@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学からの情報発信等サービスのお知らせ

1 岡山大学公式Facebookページの開設について

平成24年10月2日から、公式Facebookページを開設しました。

【公式Facebookページの閲覧方法】

岡山大学WEBサイトトップページにバナーを設置しています。

岡山大学WEBサイト (<http://www.okayama-u.ac.jp/>) に掲載されたニュース、イベント、報道発表の情報を中心に発信していきます。

興味、関心のある方は、ぜひ「いいね!」のクリックをお願いします。

URL: <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>

※twitterも既に運用しています。WEBサイトのFacebookと同じページから御利用いただけます。

2 Gmailアドレス(生涯メールアドレス)について

平成21年4月から、卒業生や退職職員の方々に、希望により無料で利用できる「生涯メールアドレス」を提供するサービスを開始いたしました。このメールアドレスには、岡山大学から定期的にメールマガジン(大学や同窓会主催のイベント情報、卒業生や退職職員から寄せられる情報・寄稿、大学の取り組み等)等をお届けしております。

◆ 住所変更等の手続きのお願い ◆

同窓会報を皆様のお手元に確実にお届けするため、お名前・御住所等を変更された場合は、下記事務室まで御連絡ください。

御連絡いただいた情報は、皆様の所属学部同窓会にも連絡するとともに、岡山大学同窓会において適切に管理いたします。

また、岡山大学21夢基金の御案内にも利用させていただきますので、御了承ください。

連絡先: 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

岡山大学同窓会事務室

TEL・FAX: 086-251-7019

e-mail: dousoukai@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学同窓会報は、約6万人の同窓生にお届けしております。



学部等同窓会からのお知らせ

法文経学部同窓会

【岡山大学法文経学部同窓会岡山総会の開催】

日時●平成25年7月5日(金) 18:00～20:00

場所●ピュアリティまきび

連絡先●田邊(法文経学部同窓会事務局)

岡山市北区津島中3-1-1(社会文化科学研究科内)

TEL:086-251-7344 FAX:086-251-7350

e-mail:tanabe-k2@adm.okayama-u.ac.jp

毎年100名を超える同窓生が集まり、旧交を温めています。

【東京支部総会の開催】

日時●平成25年7月26日(金)

18:30～20:30(18:00～受付開始)

場所●KKRホテル東京を予定しています。

(東京都千代田区大手町1-4-1)

一期生から今年卒業したメンバーまで幅広い年代、業種の方が集まります。

工学部同窓会と合同開催をしており、医学部同窓会、他学部同窓生も御参加いただいています。学部を越えて積極的に開催したいと考えておりますので、お気軽に御参加ください。お待ちしております。

問い合わせ先●事務局 e-mail:o-tso@adm.okayama-u.ne.jp

【大阪支部総会の開催】

日時●平成25年7月8日(月) 18:30～

場所●弥生会館(大阪市北区芝田2丁目4-53)

当支部では、4月頃に各期幹事会を開いて、年間の行事の開催や会計報告書を評議しています。30期前後の幹事も出席し、活発な発言も見られます。行事も従前から囲碁・ゴルフコンペに続けて色々な企画の話は出てきますが、若手会員の参加が少ない為に企画が成立しません。若い会員の方々には是非参加をされて、総会の場で発言して、本会を盛大なものとして下さい。

支部総会、囲碁・ゴルフとも詳細は、下記にお問い合わせ下さい。

大阪支部事務局長 小野 健二 TEL:06-6222-5678

大阪支部長 高村 順久 TEL:06-6365-5005

e-mail:t-takamura@sun-lo.com

※名古屋・神戸・広島・山口・香川・愛媛・島根及び津山の各支部総会は例年どおり7月～9月中に開催予定です。

【広島支部から支部長:神野恭次^{かんの}】

毎年恒例の同窓会広島支部総会・懇親会を平成24年9月7日(金)にリーガロイヤルホテル広島において開催いたしました。

本部からは、陶浪保夫同窓会長、小山正善法学部長を来賓にお迎えし、総勢約60名の同窓生が旧交を温めました。

広島支部は、広島銀行、中国電力、マツダ、広島県庁の4団体が

持ち回りで幹事を務めており、今回は広島県庁が幹事を務めました。余興では「おいしい広島県」のキャッチコピーで全国に売出し中の県産品のひとつ、廿日市市産の「けん玉」を使った「テーブル対抗けん玉大会」で大いに盛り上がりました。

若手職員の参加もあり、幅広い年齢層の参加を得て、業種を超えたアットホームな交流ができていくのが広島支部の魅力です。

岡山大学同窓会報を御覧の広島在住の同窓生の皆さん、是非広島支部総会においでください。きっといい出会いが待っています。今年も昨年と同時期の開催を予定していますので、奮って御参加ください。



理学部同窓会

岡山大学ホームカミングデイ2012にあわせて、平成24年10月20日にオープンスクール、そして夕刻にはホテルグランヴィア岡山において、岡山大学理学部同窓会の設立記念総会並びに懇親会を開催いたしました。両会には、同窓生や教職員を含め総勢61名の方に御参集いただき盛会となりました。

設立記念総会においては、本会の設立を会員の皆様に御報告しました。懇親会では、御来賓としてお迎えした、全学同窓会会長の小長啓一様、大学理事の山本進一様、本学部の同窓生でもある信州大学副学長の二宮晏様から御祝辞を賜りました。また、名誉教授の方々にも御出席をいただき、元副学長の佐藤公行先生にも御祝辞を賜りました。最後に、懐かしい学生歌を歌い再会を期して閉会となりました。

今後は、同窓会報の発行や、理学部ホームカミングデイ、総会の開催により、理学部同窓会の発展を期してまいります。今後とも本会の活動に一層の御支援をいただきたいと思います。

理学部同窓会 副会長 高橋 純夫(理学部長)



岡山大学理学部同窓会設立記念総会・懇親会 平成24年10月20日 於ホテルグランヴィア岡山

鶴翔会(岡山医学同窓会)**【鶴翔会総会の開催】**

日時●平成25年6月1日(土) 13:00～20:00

場所●岡山プラザホテル

連絡先●鶴翔会事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL:086-235-7060 FAX:086-221-3959

e-mail: dosokai@md.okayama-u.ac.jp

当日は、総会、講演会、懇親会等が開催されます。多数の御参加をお待ちしております。

【鶴翔会ホームページ】

鶴翔会のホームページに鶴翔会の紹介やお知らせ等を掲載しています。どうぞ御覧ください。内容を充実していきたいと考えておりますので、御意見、御要望をお寄せ下さい。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mdosokai/>

【医学部創立150周年に向けた取組】

医学部は、平成32年(2020)に創立150周年を迎えます。医学部では、更なる発展の礎となる記念事業を進めていくため、岡山大学医学部創立150周年記念事業実行委員会を組織し、検討を進めています。

【支部活動】

鶴翔会の各支部では、支部総会開催等の活動を行っています。詳しくは、お近くの各支部(鶴翔会ホームページに掲載していません。)にお問い合わせ下さい。

平成24年度の支部総会開催状況は、次のとおりです。

東京支部(11月)、東海支部(11月:幹事会)、近畿総支部(2月)、兵庫県支部(9月)、西播支部(9月)、福山支部(8月)、呉支部(11月)、広島支部(9月)、山口県支部(11月)、香川県支部(2月)、新居浜支部(2月)、松山支部(6月)、高知県支部(7月)

医学部保健学科放射線技術科学専攻同窓会「ほおゆう」

「ほおゆう」は、医学部保健学科放射線技術科学専攻とその前身校の卒業生及び大学院保健学研究科保健学専攻放射線技術科学分野の修了生を正会員とした同窓会です。

現在の正会員数は、1,408名です。会員数はあまり多くはありませんが、会員のほとんどが診療放射線技師であり、結束力が強いのが本会の特長です。

主な活動としては、4年に1回会員名簿を作成し、2年に1回総会と懇親会を岡山市で開催しています。昨年は総会と懇親会を開催する年であり、また、本会が設立されて50周年の記念すべき年でもありました。6月17日(日)に岡山アークホテルにおいて総会を開催し、その後引き続き「ほおゆう設立50周年記念パー

ティー」を開催しました(写真)。恩師の先生方もお招きして合計75名の御参加をいただきました。旧友や先生方との再会で和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がった会となりました。今回は女性会員の参加が少なかったのですが、次回の懇親会(平成26年開催予定)には、女性会員の方々にも奮って参加していただきたいと思っています。

なお、会員名簿は平成26年の秋頃に発行する予定です。会員の方で住所変更をされた方は、ほおゆう事務局まで御連絡ください。連絡先は、ほおゆうホームページに掲載していますので御協力よろしくお願いたします。

ほおゆうホームページURL: hooyuu.main.jp

会長 大川 義弘

**助産師同窓会**

- 助産師同窓会の会員数は、平成24年4月の時点で929名です。
- 平成24年4月から、大学院修士課程で助産師教育を行っています。平成24年度の入学生は6人でした。同窓会の皆様方の御支援に感謝申し上げます。
- 平成25年9月28日(土)に、定時総会(5年ごとの開催)をアークホテルで開催します。同窓会会員の皆様方の多数の御出席を、心よりお待ちしております。

工学部同窓会**【工学部同窓会総会、懇親会の御報告】**

平成24年10月20日(土)に、「岡山大学ホームカミングデー」が実施され、多くの卒業生が参加しました。

工学部同窓会では、この機会に、「工学部同窓会総会」と続いで「懇親会(ウエルカムパーティー)」を行いました。それぞれ約80名の卒業生が参加しました。総会では工学部長(代理副学部長)横平徳美教授、自然科学研究科長則次俊郎教授の御挨拶と説明や各学科同窓会の活動等が報告・議論されました。工学部同窓会の活

学部等同窓会からのお知らせ

性化のために、平成25年度は講演会やリタイア組の活動等新たな企画を考えていきたいと思ひます。

工学部同窓会 代表 酒井 貴志

本学科では、在学生のキャリアデザイン支援の一環として、今後も継続して本事業を実施していく計画をしております。

環境理工学部 岩田 徹



工学部同窓会総会(工学部)



「卒業生を囲む会」の開催風景



工学部同窓会総会



工学部同窓懇親会(ピーチユニオン)

環境理工学部同窓会

環境理工学部では、平成24年度岡山大学ホームカミングデイにおいて、「卒業生を囲む会」と題して、環境デザイン工学科在學生と卒業生との懇談会を開催しました。これは、第一線で活躍されている先輩(本学卒業生)を大学にお招きして、業界の現状や国際展開、職業人としての経験談等をお話いただき、先輩が活躍されている企業動向や求める人材像を知ること、学生の就職活動を支援する企画です。環境デザイン工学科同窓会である岡山大学環会の後援のもとに毎年開催しております。

当日は、170名余りの大講義室がほぼ満席状態となり、名合宏之本学名誉教授の特別講演、公務員及び建設業分野から8名の卒業生に話題提供をいただきました。また、飛び入りにて、河野伊一郎元学長からもお話を頂戴する機会に恵まれました。パネルディスカッションにおいては、専門職業人としてあるべき役割や責任感のお話を聞くとともに、聴講学生からの質問にも応じていただくことができました。

農学部同窓会

【同窓会名簿の発刊準備】

今年は、農学部名簿発刊が予定されており、昨年後半から準備が進められております。会員の皆様には、すでに葉書による会員調査に御協力いただいておりますが、名簿情報の正確性を上げるために、葉書を返信いただけなかった方及び住所不明の方への電話調査が、昨年12月から開始されております。

これらの調査は小野高速印刷(株)を通じて行われておりますが、皆様の御住所等の取り扱いについては細心の注意を払いながら進められることになっておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

【リフレッシュルームの家具を寄贈】

平成24年3月に、農学部建物内のリフレッシュルーム7室とリフレッシュコーナー1か所のテーブル及び椅子を同窓会より寄贈しました。これにより自習も可能な場所へと一新され、交流の場、リフレッシュの場として学生のみなさんの利用率がグンとアップしております。

【ホームページ】

農学部同窓会の活動状況や連絡事項は、ホームページにも掲載されております。どうぞ御覧ください。

URL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/almuni/news.html>

寄稿 絆 各地からのお便り

「鶴翔会」松山支部会、法文経学部同窓会愛媛支部及び工学部同窓会の合同特別講演会

平成24年6月30日(土)、愛媛県松山市南堀端にある東京第一ホテル松山において、「岡山大学松山同窓会」と銘打って、合同の特別講演会を開催しました。

ゲストスピーカーは、森田潔岡山大学長(医昭和49年卒)と野志克仁松山市長(経平成2年卒)で、演題はそれぞれ「岡山大学の未来をかけての挑戦」と「松山市の夢を語る」でした。

両トップとも就任2年目に入り、学長の「森田ヴィジョン」と市長の「たからみがき」の話に、参加した80名を越す同窓会員一同、胸を熱くする思いで聞き入りました。

本会は、和昌会貞本病院の貞本和彦院長(医昭和34年卒)と伊予銀行の山之内芳夫副頭取(法文昭和47年卒)の両同窓会支部長の尽力により実現しました、この松山で初めての記念すべき合同同窓会イベントです。それぞれ、後輩にあたるゲストスピーカーの講演の座長を引き受けました。

他学部からは、松山市役所の神野誠主査(工平成8年卒)ただ一人でしたが、工学部同窓会の名前も記すことにしました。

記念写真撮影後の懇親会は、「鶴翔会」の名付け親である松山市在住の青地一郎氏(医昭和33年卒)による乾杯で始まり、続いて、各勤務先である伊予銀行、愛媛銀行、愛媛県庁、松山市役所などの法文経学部同窓会員と松山市民病院、県立中央病院、四国がんセンターや南予在住の鶴翔会員の自己紹介や近況報告があり、なかには両会員の25年ぶりの邂逅などもありました。

森田学長も「こんなに活気のある同窓会は初めて」と松山での歓待ぶりとその熱気にあおられて、在任期間中の再来を約束していただき、野志市長からも同様に在任期間中は必ずまたトリップサービスをいただき、賑やかなうちに一次会の締めとなりました。

二次会は、松山全日空ホテルのラウンジに移動し、

両トップを交えてよもやま話に遅くまで花が咲きました。

森田学長の泊は(株)宝荘ホテルの宮崎光彦社長(法文昭和54年卒)にお世話をいただきました。

岡山大学は、今や全国有数の総合大学となり、卒業後も同窓会員は各方面で数多く活躍しています。

愛媛県でも、国立大学のなかで岡山大学卒業生は、当地の愛媛大学に次いで多いと聞き及んでおります。このたびの合同特別講演会の盛況を、より多くの学部同窓会員の方に知っていただき、地方から岡山大学活性化・交流の「のろし」を挙げ、学部を超えて母校岡山大学の活躍にエールを送る会を今後も企画・開催していきたいと思えます。

どうか本学の役員、教職員、同窓会幹部の皆さんと松山同窓会との交流を今後とも宜しくお願い申し上げます。

岡山大学松山同窓会報告
「鶴翔会」松山支部会 山本 祐司(昭和48年医卒)
法文経・工学部同窓会 愛媛支部 山之内 芳夫(昭和47年法文卒)



岡山大学学長 森田 潔 先生・松山市長 野志 克仁 氏 講演会記念
(「鶴翔会」松山支部会・岡山大学松山同窓会)

平成24年6月30日 於東京第一ホテル松山

法文経学部同窓会東京支部及び工学部同窓会関東支部の合同支部総会

平成24年7月27日(金)、東京都千代田区大手町のKKRホテル東京において、法文経学部同窓会東京支部総会を開催しました。今回も、前年に引き続き、工学部同窓会関東支部との合同開催となりましたが、前年と会場を変更した他、医学部同窓会東京支部からの出席もあり、総勢103名と前年を上回り盛会でした。

来賓として、大学から荒木同窓会担当理事、上田法務研究科長、大原産官学連携本部長、同窓会本部から陶浪同窓会長に出席いただき、それぞれ大学の近況などについて挨拶と説明をいただき、また、小長全学同窓会長、医学部同窓会の土岐東京支部長にも挨拶をお願いしました。

各世代の同窓生が学部の枠を越えて交流を深めるという会合の目的は達せられたかと思いますが、参加者が卒業年次によってかなりばらつきがあり、関東エリアに居住する同窓生の把握と総会への参加呼びかけに工夫をすることが今後の課題と思われまます。

総会に先立ち全学同窓会の強化策についての説明会があり、法文経学部と工学部と医学部の同窓生10数名が参加しました。荒木同窓会担当理事からの説明とこれに対する質問や意見交換が行われました。母校の発展に同窓会としてどのような貢献ができるか、また、大学当局として同窓会あるいは同窓生にどのような便宜を与えるのかなどさまざまな意見が出されました。

法文経学部同窓会 東京支部長 中門 弘

寄稿 絆 各地からのお便り

法文経学部同窓会東京支部及び工学部同窓会関東支部の合同支部総会に参加して

平成24年7月27日(金)に、岡山大学同窓会支部総会がK K R ホテル東京で行われ、鶴翔会(岡山医学同窓会)東京支部として、私と副支部長の横田恭子先生が参加いたしました。

法文経学部同窓会東京支部及び工学部同窓会関東支部の方々の熱気に圧倒された次第です。

この紙面をお借りして、鶴翔会東京支部について少し述べさせていただきます。鶴翔会東京支部は、岡山大学医学部に所属した先生方を中心に組織されており、関東周辺及び東北を含めた東日本の岡山大学の拠点として発展させるべく活動を展開しています。ここ数年で医学研修制度が大きく変わり、卒業後2年間の初期研修が義務付けられました。当然、多くの岡山大学出身の先生方が東京方面に研修にきています。東京近隣の研修医の先生方にも積極的に参加を促し、鶴翔会東京支部をさらに発展させたいと考えています。

現在、HPを公開し、MLに参加していただくようにしており、東京支部への登録メンバーは146名となっています。

鶴翔会では、毎年11月に総会を開き、特別講演と懇親会を行い、また、隔年毎に鶴翔会会長(岡山大学医学部長)にお出でいただき、岡山大学の近況を報

告していただいています。

今後、岡山大学同窓会支部と一緒に関東地区を中心として、更に発展できるように微力ながら御協力いたしたいと考えています。

鶴翔会(岡山医学同窓会)東京支部のHP:<http://kakushokai.net/index.html>

【現在の役員】

支部長:土岐 彰(S53卒)

副支部長:横田 恭子(S53卒)

理事:岡田 和夫(S30卒)、三宅 仁(S52卒)、秋山 一文(S53卒)、久保 隆彦(S54卒)、牛尾 光宏(S57卒)、池田 正明(S58卒)、三宅 健介(S59卒)、青木 淳(S59卒)、大津 忠弘(H6卒)

顧問:北村 信一(S26卒)、榊原 宣(S31卒)

監事:岡本 孝之(S31卒)、木南 英紀(S43卒)

鶴翔会(岡山医学同窓会)東京支部長 土岐 彰

岡山大学「比輔の会」

平成24年10月11日(木)に、岡山大学同窓会「比輔の会」第28回総会と懇親会が尾道市のグリーンヒルホテルで開催され、31名が参加しました。

第28回の今回は、松谷さんの司会で、松本会長の挨拶に続き、来賓挨拶では、森田 潔学長が、病院長時代の仕事から、学長に就任され、次々とユニークな構想をスライドを混ぜて話され、新しい時代に変わり行く岡山大学の未来を示していただき、私達同窓生にとって頼もしい限りのお話でした。

さらに、全学の岡山大学同窓会を近々立ち上げるとの話もあり、私達が30年前から、地方の小都市で続けてきた効がありました。

その後、写真撮影があり、六高出身の向谷 栄氏の乾杯で懇親会に入りました。

学長はノンアルコールでしたが、私達はビール、ワイン等を飲みながら、楽しく語り、最後に、久山栄一先生が閉会の辞を述べられ、2年後の再会を期してお開きとなりました。



第28回岡山大学比輔の会 総会 2012年10月11日 グリーンヒルホテル尾道

比輔の会会長 松本 光仁

岡山大学留学生同窓会上海支部設立大会

平成24年4月23日(月)に、岡山大学留学生同窓会上海支部設立大会が、上海市内のホテルで開催されました。

当日は、荒木勝副学長、張紅留学生同窓会会長など岡山大学関係者が来賓として参加し、中国国内からは、上海をはじめ北京、浙江、江蘇、吉林からも多くの同胞が集まり、総勢50名余が参加し、盛大な設立大会となりました。

大会では、はじめに上海市人民政府僑務弁公室副主任の蔡建国氏から、「岡山大学は、堅実な学風を持つ日本で指折り数えるほどしかない名門大学であり、同大との交流や共同研究を振り返ると正に感無量である。」との祝辞が述べられました。

続いて、上海同窓会長の魏 鈞原氏から「私たちの母校岡山大学は、海外からの留学生をも含む人材育成に多大な貢献をした。岡山大学では、言葉や文化の壁を乗り越え、専門知識だけでなく、日本文化、日本人の物

の考え方など親切に指導いただき、『滴水之恩』という気持ちで、母校岡山大学の今後の持続的発展のために、ひいては、中国と日本両国及び両国民の末長い友好のために貢献していきたい。」と、参集者各位の共鳴や涙を誘うような挨拶がありました。

今後は、「ますます魅力溢れる母校、岡山大学の発展に寄与したい。」という共通の思いで、同じ岡山大学卒業生としての一体感を高めていくための諸活動を展開していく予定です。



日本国立岡山大学留学生上海同窓会成立大会

一 注意喚起

- 「岡大ジャーナル新聞会」と称する団体から、卒業生の皆さんへ取材や購読依頼があるようですが、この団体は岡山大学とは一切関係がありません。本件に関するお問い合わせは、学生支援課(086-251-7182)までお願いします。
- 「人事新報社」及び「学芸出版(株)」という企業から卒業生の皆様宛てに、同窓会名簿の作成を案内し、購入を呼びかけるダイレクトメールが届いています。

- 「人事新報社」及び「学芸出版(株)」と岡山大学及び各同窓会とは全く関係がありませんので、個人情報や名簿購入の有無について返送する義務は一切ありません。万一返送されても岡山大学では責任を負いかねますので、御注意ください。
- 岡山大学卒業生の自宅に、郵便局(員)を騙る不審電話があるとの情報が寄せられています。その内容は、「岡山大学から、本人受取限定の郵便物が届いているので、連絡をして欲しい。」又は、「岡山大学から、本人受取限定の郵便物が届いているので、卒業生の現住所や携帯電話番号を教えてください。」というものです。岡山大学(同窓会)からは、本人受取限定のような郵便物は、発送しておりませんので、このような不審な電話には対応されないよう、御注意ください。

【お断り】

同窓会報の送付は、発送元や内容を明らかにして、会員の皆様に安心してお受け取りいただけるよう、また、デザイン性やコストなどを考慮して透明封筒を使用しております。この件につきましては、御了承願います。